

2023年度 医学部医学科（地域枠コース）の入学定員増について（予告）

本学医学部医学科「学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠コース）」における募集定員（岡山県4人，鳥取県1人，広島県2人，兵庫県2人）については，当初，2022年度入学生までで終了する暫定的な定員でありましたが，昨年度，国から示された「令和5年度の医学部臨時定員の暫定的な維持について」に基づき，このたび，関係各県と相談の上，引き続き，上記募集定員（岡山県4人，鳥取県1人，広島県2人，兵庫県2人）の増員計画を文部科学省に申請いたしました。

現時点では申請中のため，今後，文部科学省による審査結果やその他の要因によっては内容の変更があり得ますが，増員が認可された場合，2023年度医学部医学科学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠コース）を次のとおり実施する予定です。

なお，2023年度医学部医学科学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠コース）の詳細については，審査結果が判明次第（2022年10月頃の予定），「学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項（医学部医学科地域枠コース）」として本学ホームページにて公表する予定ですので，出願を予定されている方は，必ずこの「学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項（医学部医学科地域枠コース）」を確認してください。

この増員計画が申請どおり認可されなかった場合には，既に「2023年度入学者選抜要項」で公表している一般選抜（前期日程）の募集人員（95名）を変更する場合があります。

I 出願資格

次の（1）～（3）のいずれにも該当する者で，岡山大学医学部での勉学を強く希望し，合格した場合には必ず入学することを確約できるもの

（1）志望する各県の出願要件を満たし，かつ卒業後は当該県内での医療に従事する強い意志がある者で，各県が貸与する奨学金を在学期間中に受給することに同意するもの※

（2）令和5年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（次表参照）を受験する者

（3）出身学校長（高等学校長等）が人物，能力，素質，適性等について責任をもって推薦できる者

※ この学校推薦型選抜に出願し，合格した後に，各県からの奨学金の受給を辞退する場合には，入学を取り消す。

<各県の出願要件>

【岡山県】

次のいずれかを満たす者とします。

- ① 岡山県内の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を2020年4月から2023年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- ② 岡山県以外の都道府県の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を2020年4月から2023年3月までに卒業又は卒業見込みの者で，出願時において本人又は保護者が岡山県内に居住しているもの

【鳥取県】

次のいずれかを満たす者とします。

- ① 鳥取県内の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を2020年4月から2023年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- ② 鳥取県以外の都道府県の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を2020年4月から2023年3月までに卒業又は卒業見込みの者で，出願時において本人又は保護者が鳥取県内に居住しているもの

【広島県】

次のいずれかを満たす者とします。

- ① 広島県内の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を2020年4月から2023年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- ② 広島県以外の都道府県の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を2020年4月から2023年3月までに卒業又は卒業見込みの者で，出願時において本人又は保護者が広島県内に居住しているもの

【兵庫県】

次のいずれかを満たす者とします。

- ① 兵庫県内の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を2020年4月から2023年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- ② 兵庫県以外の都道府県の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を2020年4月から2023年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、出願時において本人又は保護者が兵庫県内に居住しているもの

(注) 岡山大学における保護者の定義は、次のとおりとします。(学校教育法から引用)
子女に対して親権を行う者、親権を行う者のないときは未成年後見人をいいます。

<地域枠コース入学者の履行義務>

【岡山県】

地域枠コース（岡山県）の入学者は、岡山県からの奨学金〔学費、生活費等に相当する額（年額240万円、月額20万円）〕を在学期間中（6年間）受給するとともに、医学科を卒業し医師免許取得後は、義務年限期間（貸与期間の1.5倍の9年間）に、岡山県知事が指定する県内の医療機関に勤務しなければなりません。義務年限期間には、2年間の初期臨床研修（県内の大学病院又は県内の基幹型臨床研修病院が行う研修）、2年以内の選択研修（県内の専門研修基幹施設が行う研修及び県内のその他の施設が行う研修で知事が認めたもの）、5年以上の地域勤務（知事が指定する県内の医師不足地域等の医療機関での勤務）を含みます。なお、選択研修による義務年限期間の中断は2年間まで認めています。

岡山県が定める、このキャリア形成プログラムを履行することにより、貸与された奨学金の返還は全額免除されます。また、在学期間中には、将来地域で勤務するためのキャリア形成を支援するプランが適用されます。当該プログラム等の詳細は、岡山県ホームページ

(<http://www.pref.okayama.jp/page/detail-113238.html>) を参照してください。

【鳥取県】

地域枠コース（鳥取県）の入学者は、鳥取県からの奨学金〔学費、生活費等に相当する額（年額180万円、月額15万円）〕を在学期間中（6年間）受給するとともに、医学科を卒業して医師免許取得後、直ちに鳥取県内の病院が管理を行う臨床研修を受け、当該臨床研修開始後、貸与期間の2倍の期間（12年間）以内に、鳥取県知事が指定する病院等において貸与期間の1.5倍の期間（9年間）（以下「免除条件期間」）勤務し、かつ、当該免除条件期間（臨床研修期間を除く）内に、鳥取県知事が指定した区域に所在する鳥取県知事が指定する病院等において4年以上勤務しなければなりません。

鳥取県が定める、キャリア形成プログラムを履行することにより、貸与された奨学金の返還は全額免除されます。鳥取県ホームページ (<https://www.pref.tottori.lg.jp/252958.htm>) を参照してください。

【広島県】

地域枠コース（広島県）の入学者は、広島県からの奨学金〔学費、生活費等に相当する額（年額240万円、月額20万円）、法定利率による貸付利息あり。〕を在学期間中（6年間）受給するとともに、医学科卒業後、貸与期間の2倍の期間（12年間）以内に、必要従事期間（貸与期間の1.5倍の期間の9年間；この9年間には広島県内の公的医療機関等で実施する2年間の初期臨床研修を含みます）に、広島県内の公的医療機関等で医師として勤務し、かつ、必要従事期間の1/2の期間（広島県内の公的医療機関等での初期臨床研修の2年間を必要従事期間から減じて計算し、1年に満たない端数は切り上げるため4年間）について、中山間地域又は広島県知事指定の診療科（病理診断科、産婦人科）で勤務しなければなりません。なお、在学期間中は、広島県等が定める「キャリア形成前支援プラン」に基づく支援を受け、必要従事期間内は、広島県等が定める「キャリア形成プログラム」に沿って勤務を行うこととなります。

このキャリア形成プログラムを履行することにより、貸与された奨学金（利息を含む。）の返還は全額免除されます。当該プラン及びプログラムの詳細は、広島県ホームページ

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/54/ishi-shougakukin.html>) を参照してください。

【兵庫県】

地域枠コース（兵庫県）の入学者は、兵庫県が定める卒前支援プランに参加し、兵庫県からの修学資金〔入学科（1年次のみ）・授業料等に相当する額）を在学期間中、四半期毎に受給するとともに、医学科を卒業し、医師免許取得後は、兵庫県の正規職員として兵庫県が定めるキャリア形成プログラム（県養成医師キャリア形成プログラム）に沿って兵庫県知事が指定する医療機関に勤務しなければなりません。この勤務期間（2年間の初期臨床研修及び後期研修（卒後6～7年目に実施）を含む。）が9年間に達したとき、貸与された修学資金の返還が全額免除されます。当該プログラムの詳細は、兵庫県ホームページ

(<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf15/ishisyugakushikin.html>) を参照してください。

大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

学 科	教 科 ・ 科 目
医 学 科 地域枠コース	【大学入学共通テストの教科・科目】〔5教科7科目〕 国語（国語） 地理歴史（世界史B、日本史B、地理B） 公民（現代社会、倫理、政治経済、倫理・政治経済） } から1 数学（数学Ⅰ・数学A） （数学Ⅱ・数学B） 理科（物理、化学、生物から2） 外国語（英語）

- (注) 1 「地理歴史」・「公民」について、指定された教科・科目の中で複数受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。第1解答科目は必ず指定された科目の中から選択してください。
- 2 「英語」については、「リーディング」及び「リスニング」の両方を受験している場合のみ、科目「英語」を受験していることとなります。（重度難聴者などで「リスニング」を免除された方を除きます。）

II 出願期間

2022年12月中旬から下旬頃

III 入学者選抜方法等

令和5年度大学入学共通テストに基準点（概ね780点）を設け、基準点以上を得た受験者の中から、調査書・推薦書・志願所信書の審査、令和5年度大学入学共通テスト及び面接の結果を総合して行います。

(1) ①面接の試験実施日時及び試験場

試 験 日	教 科 等	時 間	試 験 場
2023年 1月21日（土）	面 接	9時00分～	医 学 部

(注) 地域枠コース「岡山県」「広島県」「兵庫県」出願者には、上記に加え、各県による面接が実施されます。

②各県による面接実施日

岡 山 県	鳥 取 県	広 島 県	兵 庫 県
大学が実施する面接終了後に実施します。	実施しません。	2023年1月22日（日）に広島県医師会館で実施します。	2023年1月22日（日）に兵庫県立のじぎく会館で実施します。

- (2) 本学の2023年度入学者選抜においては、大学入試センター試験及び大学入学共通テストの過年度成績利用は行いません。
- (3) 地域枠コースにおいて志望する県は、第1志望のみ認めます。
- (4) 1学校当たりの推薦者数は、特に制限しません。
- (5) 医学部医学科「学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠コース）」を実施した場合、その合格者が所定の募集人員に満たない場合であっても、その欠員数を一般選抜（前期日程）に含めて選抜しません。

IV 合格者発表

2023年 2月10日（金）10時00分の予定

V 新型コロナウイルス感染症の影響による受験、特例措置等について

新型コロナウイルス感染症の影響による受験、特例措置等については、以下のURLを必ずご確認ください。

- 新型コロナウイルス感染症の影響による受験、特例措置等について（関連事項まとめ）

URL : https://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission_news/admission_news_id123.html